

【tep1 日目：理論（言葉あそび・お話づくり）】

【Step に参加するにあたって】

Step では日常生活でのやり取りが比較的スムーズになり、次は何をしたらいいのだろうか？これまで通りの関わりををしていいのかな？次はどこに目標を置けばいいのかな？と不安を抱いたり、悩んだりしている親子を対象にしています。この時期は、就学に向け、大きなステップアップをはかる大切な時期です。Step の分科会を通じて少しでもそのお手伝いができればと思っています。

【言葉のネットワーク（言葉－概念－理解）を考える】

お子さんによっては年少児（3-4 歳）頃になると、文字に興味を持ち始めます。さらに年齢を重ね、年中・年長児（5 歳前後）頃になると「音韻的意識」が発達し、「音節分解」＝言葉を音節にわけること（例：「さかな」→「さ」「か」「な」）や「音韻抽出」＝単語の最初の音節などを取り出すこと（例：「さかな」の最初の文字は「さ」）など、が可能となってきます。

難聴児の療育では、さまざまな『言葉あそび』を通じて、この「音韻的意識」の発達を促します。『言葉あそび』は「文字習得」や「音韻的意識の発達」だけでなく、語彙をつけ、自分で説明する力、表現する力、考える力、推測する力を就学にむけて高めていくことにもつながります。難聴児にとっての『言葉あそび』はあそびやゲームとしてだけでなく、発音の意識づけ、言葉の整頓、表現力・思考力の向上や読み書き能力を高める上でとても重要と言えるでしょう。しかし、『言葉あそび』は「勉強」的になりすぎず、あそびの延長として、楽しみながら生活の中で取り組んでほしいと思います。

また、『お話作り』では、登場人物のセリフや気持ちを考えることで、自分以外の人の気持ちや行動、立場を考えることについて触れ、「心の理論」の発達についてお伝えしていきたいと思います。

Step では下記の内容について触れていく予定です。詳細は、当日のお楽しみ！と思っていますが、簡単なチェックポイントを書いておきます。今すぐにご自分のお子さんが扱えるものばかりではないと思います。まずは、ご自分のお子さんとのやり取りを思い出しながら、今は何ができているかチェックしてみましょう。

<知っておきたい『言葉あそび』とチェックポイント>

1. 仲間あつめ

- ☐ 上位語（カテゴリー語）は知っていますか？
- ☐ 形や色での仲間あつめができますか？
- ☐ 形容詞（長いもの、など）や動詞（書くもの、など）での仲間集めはできますか？
- ☐ 上記のものでの語想起（例：果物をたくさん言う、など）いくつ言えますか？
- ☐ 「仲間はすれ」がわかりますか？
- ☐ どうして仲間外れか理由付けができますか？

2. 反対ことば（形容詞・動詞）

- ☐ 形容詞や動詞の反対言葉を対で理解していますか？

- ☐ 「〇〇の反対は？」という問いかけで答えることができますか？
- 3. なぞなぞあそび
 - ☐ 形や色、上位語が含まれるシンプルななぞなぞに答えられますか？（例：赤くて丸い果物は何？）
 - ☐ 動詞などが含まれたなぞなぞに答えられますか？（例：バチで叩いて音を出す楽器は何？）
 - ☐ 自分でなぞなぞの出題ができますか？
- 4. 言葉しりとり
 - ☐ ♪さよなら△またきて□、□は豆腐、豆腐は白い、白い（もの）はなあに？ ♪などの「言葉しりとり」を続けていけますか？
- 5. 音節分解（音はいくつ？）
 - ☐ 「さかな」が何文字から成り立つかわかっていますか？
 - ☐ 「何文字（なんもじ？）」という言い方がわかり、「さかなは何文字？」というようなその問いかけに答えられますか？
- 6. 音韻抽出（頭字あつめ）
 - ☐ 「あ」がつく言葉をたくさん考えよう！（いくつくらいなら言えますか？）
- 7. しりとり
 - ☐ しりとり遊びを楽しめますか？
- 8. さかさまことば（回文への発展）
 - ☐ 「ぬい」を逆さまから読むと動物になるよ！（文字を見なくてもわかりますか？）
 - ☐ 何文字（何音節）くらいの言葉なら頭の中で文字を組立てなおして「さかさまことば」の答えを導くことができますか？
 - ☐ 上から読んでも下から読んでも同じ言葉を知っていますか？
- 9. 言葉のかくれんぼ・アナグラム
 - ☐ 「かばん」や「れいぞうこ」にはどんな動物が隠れているかわかりますか？（文字を見ればわかる、文字を見なくてもわかる）
 - ☐ 自分の名前にはどんな言葉が隠れているかわかりますか？ どんな言葉を作れるか思いつきますか？（文字を見れば思いつく、文字を見なくても思いつける）

<就学に向け、さらに上を目指したい人は…>

- 1. 言葉あそびなぞなぞ
 - ☐ 「ペン」はペンでも食べられるペンはなあんだ？」のような言葉あそびなぞなぞに答えられますか？
- 2. 数詞
 - ☐ 「〇個」「〇人」「〇つ」など以外の数詞も使い始めていますか？
 - ☐ 「枚」「本」って数えるものには何があるだろう？ と考えたときに答えられますか？
- 3. 暗唱（詩など）
 - ☐ 簡単な詩や身近な絵本のフレーズを覚えたりしていますか？
- 4. ようすの言葉（形容詞・擬音語擬態語）

- ☐ 音をあらわす言葉だけでなく、「ちらり」「キョロキョロ」「じーっと」見るなどのようすの違いをあらわす言葉を理解していますか？ 自分で使っていますか？

5. 特殊音あつめ（長音・促音・撥音）

- ☐ 「っ」「ん」「ー」のつく言葉が読めますか？
- ☐ 「っ」「ん」「ー」がつく言葉をいくつ思いつきますか？

6. 反対ことば（熟語）

- ☐ 「出発」の反対はなんだろう？
- ☐ 身近な熟語は生活の中でも使いはじめていますか？

7. 同音意義語

- ☐ 「雲」「蜘蛛」が「くも /kumo/」という同じ音であることに気づいていますか？
- ☐ 「雨」「飴」のアクセントの違いを使いわけていますか？
- ☐ どんな同音意義語を知っていますか？

8. 回文

- ☐ 「いかたべたかい」「ようかんかうよ」などの回文を楽しんでいますか？
- ☐ 回文を読んで意味を理解できていますか？

9. だじゃれ

- ☐ 「ふとんがふっとんだ」「サラダの皿だ」などのだじゃれを楽しんでいますか？
- ☐ だじゃれを聞いて意味を理解できていますか？

10. 同じ漢字のつくことば

- ☐ 「雨」のつく言葉にはどんな言葉があるだろう？
- ☐ その言葉からどんな意味か想像することができますか？

<知っておきたい『お話づくり』とチェックポイント> 心の理論の発達を促す

・お話作り

- ☐ よく読み聞かせをしてもらったお話を自分の言葉で作り直すことができますか？
- ☐ 4コマ漫画などをみて話の流れを理解し、大まかに説明することができますか？
- ☐ 創作話をしていますか？

・セリフや気持ちを考える

- ☐ 登場人物のセリフを考えて伝えることができますか？
- ☐ 登場人物の気持ちに気づきそれを伝えることができますか？

・劇あそび

- ☐ どんな登場人物がいればいいのか考えられますか？
- ☐ どんなセリフが適切かを考えられますか？

<当日を迎える前に…（宿題）>

上記に列挙した『言葉あそび』は市販のドリルや通信教育などで扱われるものも多く含まれています。就学を前にこれらをドリルなどでしっかりおさえていくことも時には、必要です。しかし、今回は、生活のやり取りの中でお子さんと一緒に考えたり、お子さん自身が考えたりするた

めには、どのようなことができるか考えて欲しいと思います。チェックポイントを読みながら、ご自分がお子さんに対してどんな投げかけができていますか考えてみましょう。また、生活の中の『言葉あそび』の扱いについて考えてみましょう。

たとえば...

- 1: お子さんが「ねこじゃらし」を見つけました。そのあとどんな会話に発展していけるでしょう？
どんな『言葉あそび』ができますか？
- 2: お子さんと工作をすることになりました。準備を一緒にする中でどんな『言葉あそび』ができますか？
- 3: 電車が人身事故で止まってしまいました。状況を説明してあげたのですが、しばらく待たなくてははいけません。手元には絵本や筆記用具、ゲームなど何もありません。（スマートホンやiPadなども使わないこととします。）自分のお子さんだったら、時間つぶしにどんな『言葉あそび』ができそうですか？（歩きながらできるもの、なども考えてみましょう。）
- 4: お子さんが「ひこうき雲」に気づきました。その後、どのような会話に発展していけるでしょう？どんな『言葉あそび』ができますか？
- 5: お子さんが自分の名前の文字積み木を並べています。お子さんはすでにある程度の文字が読めるようになっている場合、どんな『言葉あそび』に発展できますか？

【活動例】

1.

- ・「ノントンちょちょちょ」キヨノサチコ著を読んだことがありますか？ねこのノントンがもっている「ねこじゃらし」、お友達のぶたさんと「ぶたじゃらし」、たぬきさんと「たぬきじゃらし」に言葉が変化します。「ねこじゃらし」は、視界で振るとねこがじゃれることから「ねこじゃらし」と呼ばれていますが、ママだったら、「ママじゃらし」○ちゃんだったら、「○じゃらし」、こんな何気ない言葉あそびもお子さんと楽しめるといいですよ。
- ・動物の仲間あつめをしながら「○○じゃらし」の○○に入りそうな動物を考えてみいいですね。

2.

- ・意外と難しい「文房具」という上位語。一度文房具屋さんなどに足を運んでみて、どんなものが売っているか確認してみてもいいですよ。文房具の仲間あつめが楽しめます。廃材を使うのであれば、形の仲間あつめもできますよ。サランラップの芯・トイレトペーパーの芯などの筒型のもの、空き箱もいろいろな形がありますよね。
- ・絵の具で使う動詞、折り紙で使う動詞、同じ道具、材料を使ってどんな動詞が使えるか考えることも言葉あそびの1つです。

3.

- 少し大きなお子さん向けになりますが、しりとり・さかさ言葉・言葉しりとり・なぞなぞ、今回 Step で扱った言葉あそびの中には、筆記用具がなくても、言葉だけでやり取りできるものが多数あります。
- 「言葉あそび」ではありませんが、順番にお話を考えていくこともできると思います。「あるところに、〇ちゃんという女の子がいました。女の子が電車に乗っていると、電車が止まってしまいました。そこで、、、」→子どもがお話の続きを考える、など。

4.

- 雲にもいろいろな名前があるのをご存知ですか？夏によく見られる「入道雲」、雨を降らす「雨雲」、夕方に見られる「夕焼け雲」、波のような「なみ雲」、すじのような「すじ雲」などいろいろあります。お子さんと何に見えるか話し合いながら、いろいろな雲の名前を考えることも言葉あそびにつながります。動物だったら？乗り物だったら？と仲間を限定して考えてみてもいいですね。

5.

- 文字がある程度入っているお子さんであれば、並べたものをさかさまに読んで、「さかさ言葉」につなげたり、自分の名前に隠れている言葉を探す「言葉のかくれんぼ」「アナグラム」をしても楽しいですよ。
- それぞれの文字がつく言葉をいっぱい考えていくこともできます。

※上記に記載したものは、ごく一部にすぎません。親御さんが考えたことの中には、他にもいっぱい素敵な活動があったのではないかと思います。Step で聞いたこと、学んだことを参考に、もう一度、日常生活の中でどんな「言葉あそび」や「お話作り」ができるか、考えてみて、お子さんと楽しく取り組んでいただけたらと思っています。